

# 奨励賞

所在地：石川県小松市  
 病床数：340床  
 従業員数：575人（うち看護職員数336人）  
 入院基本料看護配置：急性期一般入院基本料1

## 国民健康保険 小松市民病院

### 外来病棟一元化による勤務環境改善

#### 取組のきっかけ

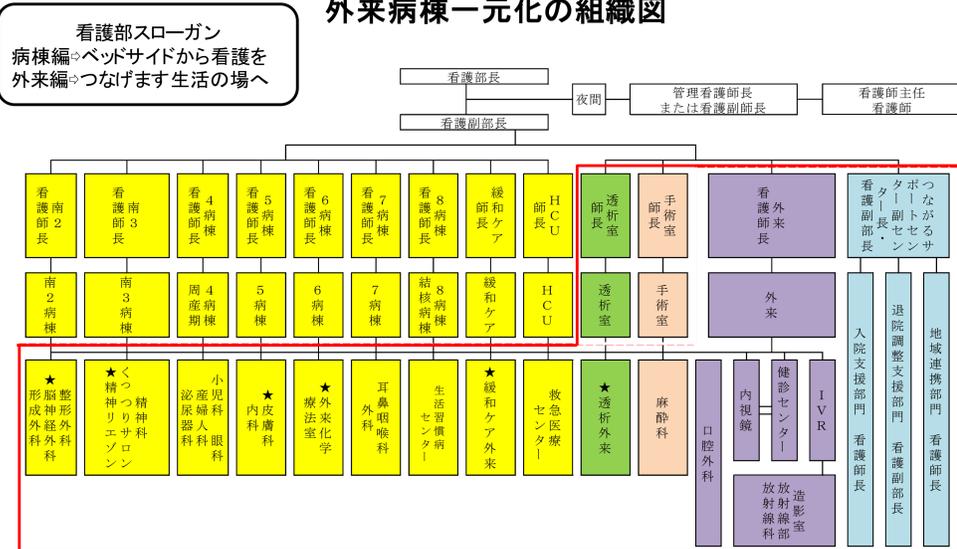
- 従来、外来看護業務は外来専従看護師のみで実施していたが、外来看護師は育児等により勤務時間に制約のある者が多い。外来師長は外来部署の限られた人材の中で、看護師の急な休みへの対応・休憩時間の確保・時間外勤務の偏りの調整をする等、外来看護師の勤務体制や人材活用に課題があった
- 外来・病棟間の看護師の連携が十分に進んでおらず、患者から「退院後初の来院でも声掛けが無い」「入院時の連絡事項が伝わっていない」といった意見があった

一日平均外来患者数：748人  
 一日あたりの平均外来看護師数：37.1人

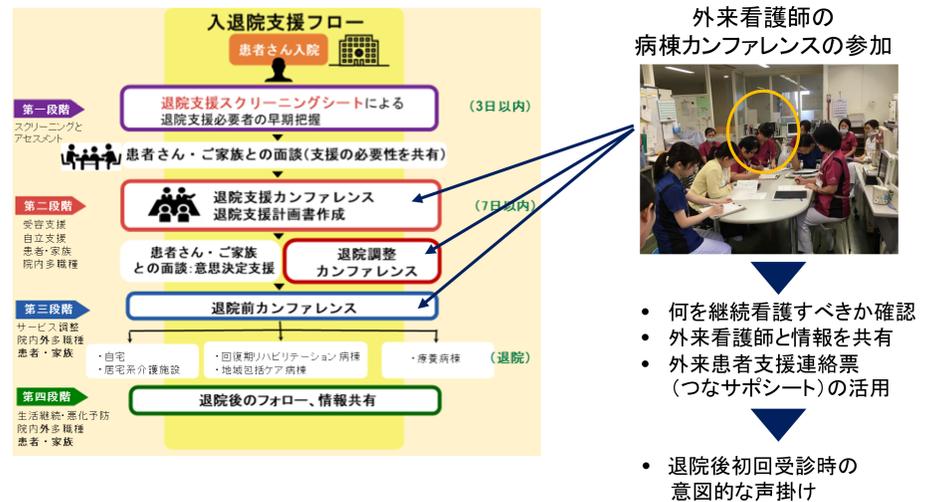
#### 主な取組内容

- ① 外来病棟一元化の組織作り**
  - 病棟と関連が深い診療科の外来で一元化を実施（外来病棟一元化の組織図）
    - 病棟師長が縦のライン（病棟・病棟と関連する外来）を管理
    - 外来師長は横のライン（組織図の赤枠）を管理し、外来全体を管理
  - 例）7病棟（消化器内科・外科、腎臓内科、耳鼻咽喉科）は外科外来・耳鼻咽喉科外来と一元化
    - 7病棟看護師が外科外来・耳鼻咽喉科外来も担当
    - 7病棟師長が7病棟・外科外来・耳鼻咽喉科外来を管理・ラウンドを実施
- 院内での普及を目的に、マニュアルを2種類（院内全体に共通の内容・診療科に特化した内容）作成
- ② 外来病棟一元化による病棟・外来看護師の連携**
  - 外来看護師の病棟カンファレンス参加、病棟看護師が外来看護業務を担うことを可能にした

#### 外来病棟一元化の組織図



#### 外来病棟一元化による看護の具体的な関わり



#### 取組の成果と効果

- ① 外来担当看護師の平均時間外勤務の削減  
 : 7.4時間/月（2017年11月～2018年3月の平均）  
 → 3.2時間/月（2018年11月～2019年3月の平均）
- ② 外来担当看護師の年休取得平均日数の増加  
 : 3日/人（2017年） → 4.3日/人（2018年）
- ③ 外来担当看護師のIC同席患者数の増加  
 : 4人/月（2018年6月） → 41人/月（2019年8月）

外来担当看護師がIC同席した患者延べ人数



#### 患者の声

- 同じ看護師さんが入院前から入院・退院後も外来でみてくれて安心できる
- 入院中に習った導尿のことが退院後できるか不安だった。同じ看護師さんが外来にいて相談しやすかった
- 外来でかかわった看護師さんが、手術の時に付き添ってくれて安心できた



病棟看護師が病院玄関に常駐し、移乗介助、受診相談等を行う

- 病棟と患者に関する情報交換がしやすくなった（外来看護師）
- 外来の診療状況に合わせて時間の余裕がある時に病棟業務を行うなど、時間の有効活用ができています（外来看護師）
- 入院前後の患者の様子を知ることができた（病棟看護師）



病院外観